

LABScreen Autoantibody 解析

LABScreen Autoantibody は HLA Fusion Research 6.0（以上）の専用解析ソフトを使用します。
※注意：LABScreen を解析する HLA Fusion とは異なります。

- 解析ソフトのインストール及びカタログファイルのインストールおよびインポート
 - HLA Fusion Research 6.0 のインストール方法は、HLA Fusion と同様です。
血清型ファイルをインポートします。血清型ファイルは Serological Equivalent Nomenclature for KIR xxxx (.CSV) を入れてください。
 - カタログファイルは、HLA Fusion と同様です。
- ※インストール及びカタログファイルのダウンロード・インストール方法は HLA Fusion のマニュアルをご参照ください。

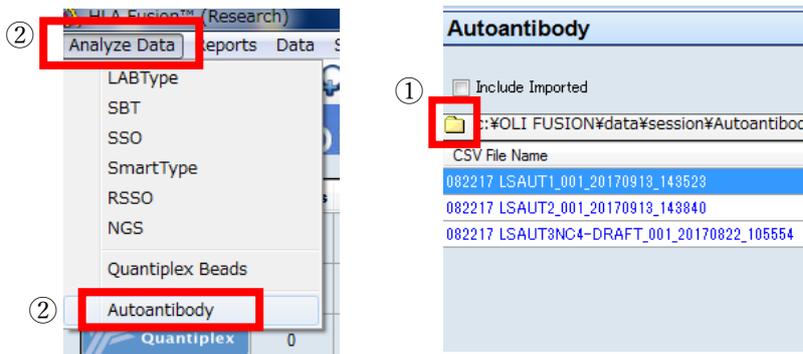
➤ 解析手順

1. データのインポート

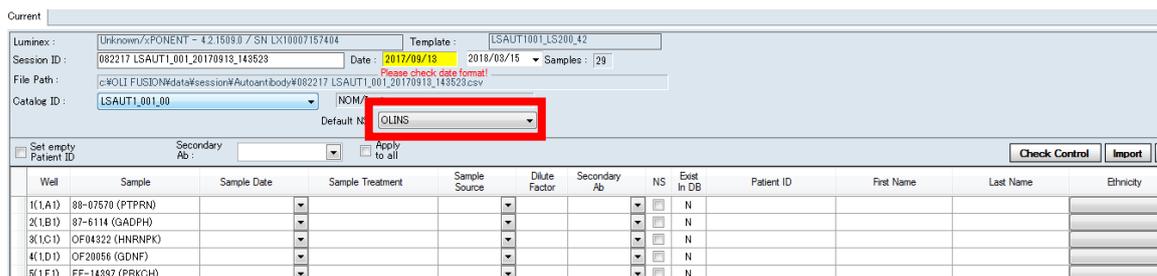
LABScan からの output.csv をインポートします。

デフォルトではフォルダは C:\OLI FUSION\data/session/Autoantibody に設定されていますが、全てのフォルダからインポートできます。

2. Analyze Data のタブから Autoantibody を選択し、インポートする CSV File Name を選択します。



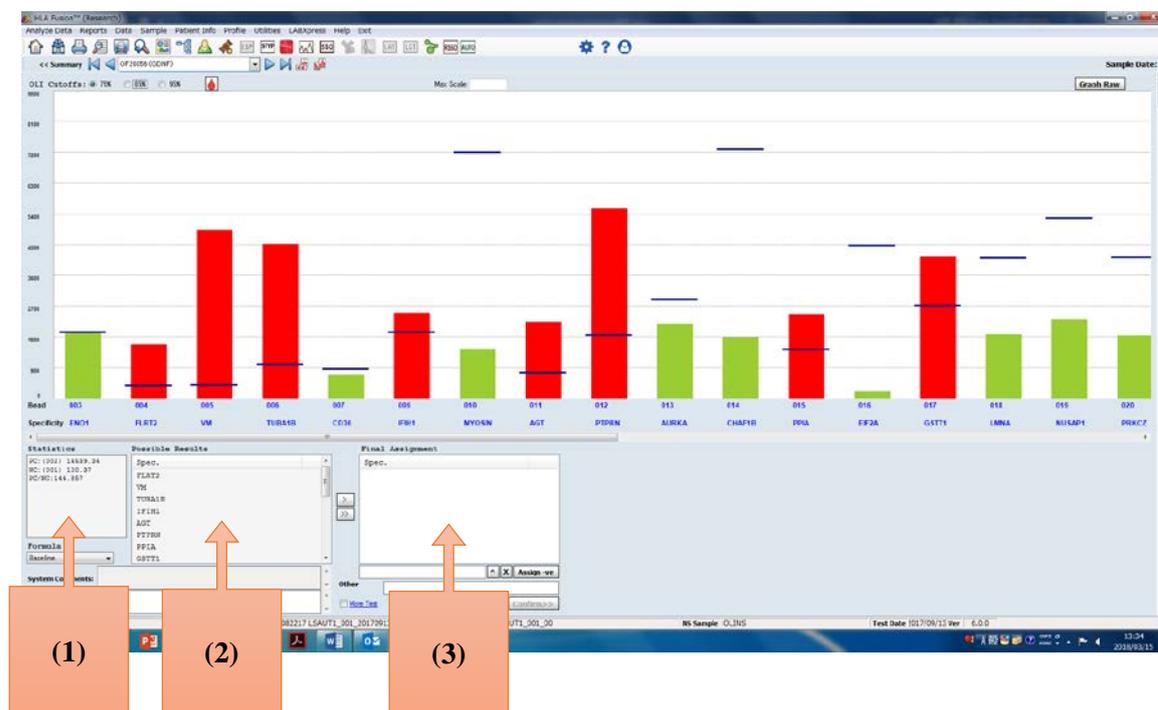
3. 選択すると下記のように表示されます。Session ID、Catalog ID を確認します。NC は使用しないので、Default NC を OLINC とし Import ボタンをクリックします。



4. Navigator に表示されたセッション名をクリックすると Summary が表示されます。各検体をダブルクリックすると解析画面が表示されます。

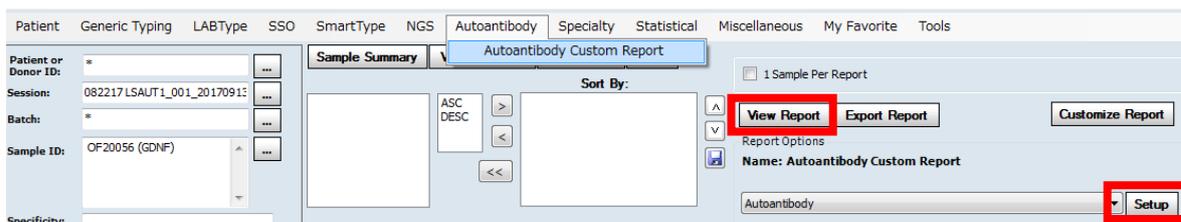
Summary								
Position / Sample	Other Assignment	Analysis Date	Analysis User	Confirm Date	Confirm User	PC	PCNCRatio	
1(1,A1) 88-07570 (PTPRN)		2018/03/15 13:25:00	1			15347.32	90.539	
2(1,B1) 87-6114 (GADPH)		2018/03/15 13:25:00	1			14873.6	161.301	
3(1,C1) OF04322 (HNRNPK)		2018/03/15 13:25:01	1			13054.32	106.548	
4(1,D1) OF20056 (GDNF)		2018/03/15 13:25:01	1			14539.34	144.857	
5(1,E1) FE-14397 (PRKCH)		2018/03/15 13:25:01	1			13472.63	69.183	
▶ 6(1,F1) OF2696		2018/03/15 13:25:01	1			18590.24	69.504	
7(1,G1) S11197B (Agrin C)		2018/03/15 13:25:01	1			14526.57	67.609	
8(1,H1) OF20054 (PLA2R)		2018/03/15 13:25:01	1			13961.15	87.034	

5. 以下のような画面が表示されます。



- (1) コントロールの確認(statistics)
 (2) 可能性のある結果(possible results)
 (3) 最終決定(Final Assignment)

6. One Lambda で Default 設定した%での陽性の抗体が(2)に表示されるので、陽性と判断した際にはダブルクリックもしくは矢印をクリックする事で(3)へ移動させ Save します。
 7. Reports ボタンを押して、Session または Sample ID から報告書を出す検体を選択します。



Autoantibody をクリックして、Autoantibody Custom Report を選択します。
 Set up で必要な情報にチェックを入れ、View Report で Report が作製できます。

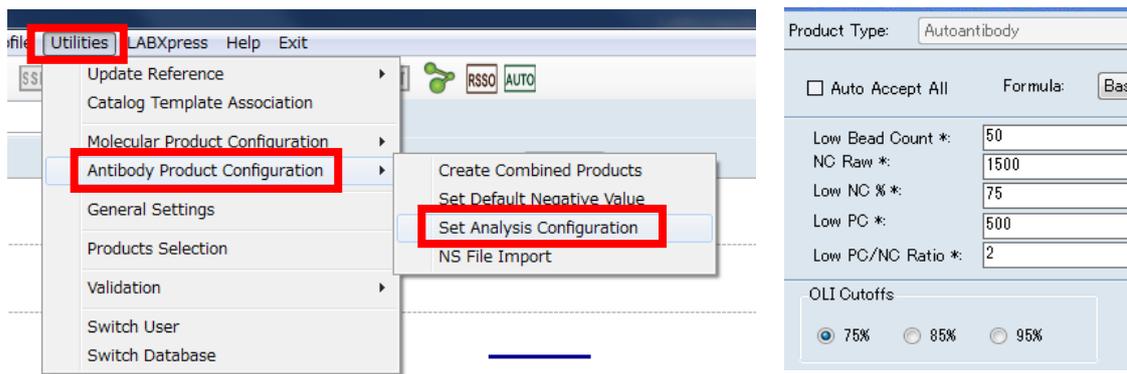
➤ 解析の考え方

- 解析ソフトの右上に OLI Cutoffs の表示があり、3 つの参考カットオフ値（75%、85%、95%）が設定できるようになっております。

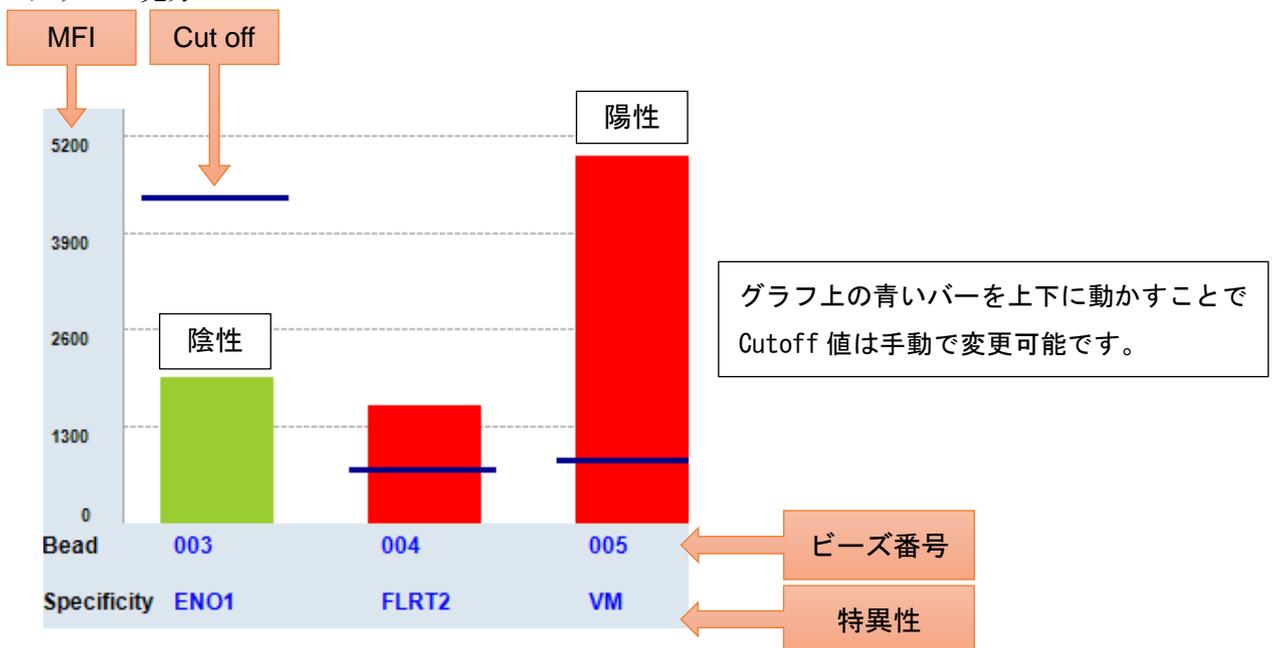
※これらのカットオフ値は輸血歴のない陰性血清 125 検体を全てのターゲットに対してスクリーニングを行った Reference background 値を参考に決定されております。



- カットオフ値は画面上で変更が出来ます。また、Utilities->Antibody Product Configuration ->Set Analysis Configuration で設定できます。



- グラフの見方



株式会社ベリタス 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-10-14 住友東新橋ビル 3 号館 5 階
 TEL 03-5776-0078 FAX 03-5776-0076
 技術的なお問い合わせは：TEL 03-5776-0040 E-mail techservice@veritastk.co.jp